中央スチール

本社棟建て替え

業務効率改善へ 体制強化

中部地区の有力厚板溶断業、中央スチール（本社・岐阜県揖斐郡大野町、社長・森田勝也氏）は業務効率改善に向けた体制強化を図った。本社敷地内の新しい本社棟を建造し、今月から稼働をスタートした。建屋を別箇所に配置することで加工部門の生産性を高めるとともに、バックオフィスの環境改善を目指す。総投資額は約1億3千万円。

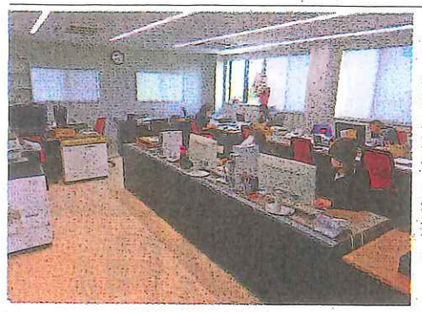
同社は建築、産業機械関連向けを中心に月間約600㌧の厚板切板を供給する。近年では最新鋭の10KWファイバーレーザ加工機新設、母材仕入れを行う兄弟会社・中央鋼板の設立など積極的な基盤強化を進めている。

建て替えを行った新本社棟

完成から27年が経過し、旧本社棟は老朽化が進んでいた。建屋が敷地中央部、メイン工場と増築した工場間に位置していたため、両工場間でのトラックの往来をより円滑にする必要があった。

業容の拡大に合わせて社員数が増加し駐車スペースもさらに確保しなければならないことも考慮して、敷地南東角への新本社建設を決定した。3月末に着工し7月末に完成、今月2日竣工式を執り行って6日に移動作業を行い、稼働を始めた。

新本社棟は3階建で延べ床面積は約300平方㍍。外壁にダークグレーのガルバリウム鋼板を採用して落ち着いた印象とし、設置した会社ロゴマークは夜間ライトアップする。



2階に置く事務所

1階を大型テレビ、調理場のある食堂・休憩室とすることによって、現場オペレーターが休みを取りやすいよう工夫を凝らした。事務所は2階に配置、旧本社と比較して1・5倍ほどの広さを確保し什器類を一新した。

3階には会議室や書庫のほか、更衣室・休憩室・トイレを備えた女性社員専用スペースを設けた。環境を充実化することで今後の女性採用を円滑化していきたい考え。

9月中旬ごろ旧本社棟の解体を終えた後、同地へ工場用トイレも新設する。その他の作業を含め10月末までに全工事が完了する予定。中央スチールは投資を通じて作業効率アップ、さらなる就業意欲向上を実現し、段階的な加工実績拡大を目指す構えだ。

平鋼カラー定尺
販売開始
平鋼・角鋼・広幅平鋼
西村鋼業株式会社
お問い合わせ・ご注文
047(352)3181（鉄鋼部）
0276(56)2460（北関東支店）
0467(76)0211（神奈川支店）
0223(29)2460（東北支店）
http://www.nishimura-kogyo.co.jp/